

指定管理施設の管理運営評価表

担当室 スポーツ振興室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市体育施設
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	特定非営利活動法人なばり総合型地域スポーツクラブ 名張市夏見2812番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成19年度 利用者数：延186,074人(前年度比83%) 事業内容：名張市体育施設(11施設)の管理運営 総合型地域スポーツクラブの教室を充実することにより 教室以外で施設を利用する新規利用者があった。
(4) 市支出額	平成19年度 指定管理料 40,560,000円
(5) 管理運営の状況	施設等の利用の許可に関する業務 施設等の利用に係る料金の収受に関する業務 公共施設予約システムに関する業務 施設等の維持及び修繕に関する業務 物品等の貸し出しに関する業務 市の行政施策との連携 施設・設備の清掃、保安等の管理業務 市との連絡調整及び事業報告 その他、必要な業務

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用者サービスの確保 1. 平等利用の確保 2. 障がい者、高齢者等への配慮 3. 受付時間の短縮 4. 管理体制の充実	1. 体育協会等が主催する大会等の行事については1年間の予定を事前に把握して、円滑に利用できるよう調整を行っている。一般の利用については、2ヶ月前からの先着順として窓口での直接申請を義務づけ、受付方法を統一することで利用における公平性を確保している。 2. 障がい者、高齢者への施設利用については制限することなく、積極的に開放している。 3. 窓口業務の混雑が予想される時(土日等の予約)は、受付開始時間を早めて、多人数で対応するなどの方法で受付時間の短縮を図っている。 4. 体育施設の管理運営、スポーツ・レクリエーション活動の専門的な知識を有した従事者が配置されていることで、安全・安心に利用していただけるだけでなく、円滑かつ効率的な管理運営を行っている。 施設利用状況、独自事業の予定に応じた人員を配置することで効率的な管理体制となっている。また、大会等で利用時間前に準備の必要がある場合は、可能な範囲で対応できる管理体制をとっており、利用者サービスを図っている。

<p>利用を促進するための取組</p> <p>1．広報等による啓発活動</p> <p>2．自主事業の展開</p> <p>3．利用者の要望把握</p> <p>4．トラブルの未然防止</p>	<p>1．市広報や日刊紙への記事掲載のほか、総合体育館窓口でイベント情報のチラシやポスターなどを掲示してPRに取り組んでいる。また、独自のホームページを作成しインターネットを活用して情報発信をするなどあらゆるメディアを活用した啓発活動を展開している。</p> <p>2．総合型地域スポーツクラブの自主事業として、空いている体育施設を利用して各種スポーツ・レクリエーション教室を展開することで利用促進を図っている。</p> <p>3．日々の施設点検の際に、利用者の生の声を聞いてサービスの向上を図っている。</p> <p>4．施設・設備の点検整備については、従事者が毎日巡回を行い、安全かつ快適に利用していただけるような対応をしている。また、問題が発生した場合についても迅速に対応している。</p>
<p>経費節減への取組</p> <p>1．施設・設備の保守、管理、修繕計画</p> <p>2．業務の見直し</p> <p>3．維持管理経費節減の工夫</p>	<p>1．施設・設備が破損した場合、部品の交換等容易に修繕できるものは従事者で対応し経費の削減を図っている。</p> <p>2．3．第三者に委託しなければならない業務については、業務量や委託内容を再検討し、必要最小限の委託とすることで、経費の削減を図っている。</p>

3 施設設置者（名張市）評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「経費の削減及びサービスの向上」を目指して、利用者の立場に立って管理運営にあたっている。 ・ 業務の見直しや自己の努力により無駄な経費が削減されている。 ・ 日々の施設巡回で利用者と接する機会をできるだけ多く持ち、利用者の意見を積極的に聞く努力を怠らない姿勢は利用者に好印象を与えている。また、老朽化が著しい施設にもかかわらず、施設の美化を最優先して管理していることは利用者へのサービス提供だけでなく、利用者のマナーの向上を促す効果も生み、より利用しやすい施設となってきた。施設内のサイン表示も必要最小限で効果的に掲示されている。 ・ 利用を促進するための取り組みとして、空き施設を利用したスポーツ・レクリエーション教室を多種多様に展開していることは、総合型地域スポーツクラブの役割も果たす画期的な事業であり、名張市のスポーツ振興に大きく貢献している。
<p>以上、当施設の管理運営について、概ね評価できると判断される。</p> <p>今後の課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の管理運営についての専門職員の配置を図っていく必要がある。 ・ 定期的にミーティングを行い従事者間の連携を図るとともに、管理運営に必要となる研修会等の実施や外部講習にも積極的に参加し、より一層の資質の向上が望まれる。 ・ 市及び関係団体等との連携をより一層深め、名張市のスポーツの拠点である中央公園を中心とした体育施設がこれまで以上に充実し、総合型地域スポーツクラブのスローガンとしている「いつでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツが親しめる環境づくりのための事業展開が望まれる。 ・ 施設管理業務は無難にこなしているが、スポーツクラブ本来の活動に、施設管理業務が負担となっていることがうかがえる。

名張市体育施設の管理運營業務にかかる収支状況（平成19年度）

（単位：円）

区分	項目	計画額	決算額	決算額の内訳
収 入	利用料金収入	18,300,000	18,982,066	名張市体育施設使用料18,982,066
	事業収入等	1,136,000		
	市指定管理料収入	40,560,000	40,560,000	
	収入合計（A）	59,996,000	59,542,066	
支 出	人件費	17,027,000	17,804,821	役員報酬430,000 給料手当16,024,275 法定福利費1,083,260 福利厚生費267,286
	事務費	1,130,000	736,706	備品購入費115,290 消耗品費135,960 通信運搬費9,420 手数料等476,036
	事業費			
	管理費	41,939,000	40,795,949	保守管理等委託料19,340,788 清掃2,379,780 光熱水費14,052,777 修繕費1,861,902 手数料等3,160,702
	事務経費			
	支出合計（B）	59,996,000	59,337,476	
収 支 （A） - （B）		0	204,590	

人件費は、当該施設管理費分の分別ができないため、受託事業者（NPO法人）の団体運営上の人件費総額を記載した。